

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月18日

計画の名称	安全・安心なまちづくりと交流を支援する街路整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	仙北市,湯沢市												
計画の目標	街路の整備により、市街地の安全・安心で円滑な移動を確保することで、都市と周辺地域との連携、交流を促進させ、まちの魅力向上や産業の活性化など都市活力の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,246	A	1,175	B	0	C	71	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	5.69	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	市街地(用途)区域内における移動円滑化率の向上。 市街地(用途)区域内における移動円滑化率 移動が円滑化された道路延長 / 市街地(用途)区域内における都市計画決定延長 × 100%	70%	80%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	仙北市	直接	仙北市	S街路	改築	岩瀬北野線	道路新設 L=0.5km	仙北市						338	-		
	A01-002	街路	一般	湯沢市	直接	湯沢市	S街路	改築	新開地線	道路改築 L=0.2km	湯沢市						503	-		
	A01-003	街路	一般	湯沢市	直接	湯沢市	S街路	改築	駅西線	道路改築 L=0.3km	湯沢市						334	-		
											小計						1,175			
											合計						1,175			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	湯沢市	直接	湯沢市	S街路	施設整備	交流広場整備	交流広場A=600㎡	湯沢市						37	-		
		道路情報の実施に併せ、交通結節点の交流機能を強化し、市民、来街者の利便性の向上を図る。																		
	C01-002	街路	一般	仙北市	直接	仙北市	S街路	施設整備	岩瀬北野線周辺環境整備	ポケットパークA=1,000㎡	仙北市						34	-		
		街路整備によって生じる河川緑地と空地の高低差を解消し、歩道と併設したポケットパークを一体的に整備することで、歩行者に安らぎと潤いのある歩行空間を提供するとともに安全性を確保する。																		
																		71		
																	71			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
仙北市・湯沢市	平成27年度～令和元年度
	公表の方法
	仙北市及び湯沢市のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	街路整備により車両及び歩行者等の移動が円滑になり、周辺地域へのアクセス利便性が向上し、交通結節点への交通機能を強化できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	交流広場、ポケットパークの整備によりイベント等での活用で、市民や来街者との交流が図られている。
特記事項（今後の方針等）	
交通結節点、周辺地域へのアクセスは向上したものの、中心市街地の活性化、賑わい創出には、まだ課題が残る。ソフト施策や駅周辺の開発整備による活性化を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	88%	目標値と実績値の差なし
	最終 実績値	88%	